



2021年1月22日

各 位

会 社 名 : 株式会社 ダイナックホールディングス  
代表者名 : 代表取締役社長 伊藤 恭 裕  
(コード番号: 2675 東証第二部)  
問合せ先 : 取締役常務執行役員 及 川 直 昭  
(電話 : 03-3341-4216)

### 特別利益・特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年12月期第4四半期連結会計期間において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上いたします。これに伴い、2020年11月2日に公表しました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別利益の発生(連結)およびその内容

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金の支給申請の実施により、126百万円を特別利益に計上いたします。これにより、通期の助成金収入合計額は744百万円となります。

#### 2. 特別損失の計上およびその内容

##### (1) 固定資産の減損損失(連結)

2020年12月期第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の経営環境等を踏まえ、将来の回収可能性を保守的に検討した結果、店舗に係る減損損失1,046百万円を計上することといたしました。これにより、通期の減損損失合計額は1,212百万円となります。

##### (2) 関係会社株式評価損(個別)の内容

2020年12月期の個別決算において、当社の連結子会社である株式会社ダイナックが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による著しい売上高減少に伴い債務超過に陥ったため、当社が保有する株式会社ダイナックの株式の実質価額につきまして「金融商品に関する会計基準」に基づき、関係会社株式評価損5,043百万円を計上するとともに、株式会社ダイナックへの貸付金に対する貸倒引当金繰入額2,910百万円を計上することといたしました。

なお、当社の個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 2020年12月期通期の連結業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	19,100	△6,200	△6,300	△8,400	△1,194円41銭
今回修正予想(B)	19,700	△6,080	△6,070	△8,970	△1,275円46銭
増減額 (B-A)	600	120	230	△570	—
増減率 (%)	3.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2019年12月期	37,189	129	246	△305	△43円51銭

4. 修正の理由

当社の業績について概ね前回見込みを上回って進捗しておりますが、親会社株主に帰属する当期純利益は、冒頭に記載の助成金収入があったものの、店舗に係る固定資産の減損損失の計上が増定より増加したこと等により前回見込みを下回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上